



推進員が異動したからこそその
強みを生かす
～繋がりを切らせない連携体制づくり～

御坊市 防災対策課 谷口泰之

御坊市について

- 紀伊半島海岸部のほぼ中央部
- 総面積：43.91km²
- 日高川を境に河北、中央、河南エリアに生活圏域
 - 河北：地元の方と移住の方が混在。
 - 中央：官公庁や商業施設が集中。
 - 河南：農業や漁業が盛ん。2世帯同居が多く残る
- 昼夜間人口比率：115%



令和5年3月31日現在

総人口	65歳以上人口	高齢化率	日常生活圏域	認知症地域支援推進員
21,851人	7,182人	32.8%	6圏域	8人
要介護認定者数 (第1号被保険者)	認知症高齢者数(推計値)	第8期介護保険料 基準額	地域包括支援センター数	
1,827人	1,292人	7,500円	1 (直営)	

- 配置先は
- ・ 直営包括
 - ・ 在宅介護支援センター
 - ・ 認知症デイ
 - ・ 小規模多機能

御坊市の認知症施策への考え方

本人の声に耳を傾け、本人の視点に立ち、
本人とともにこれからの暮らしを考える。
その先に、認知症になっても自分らしく暮
らせるまちをつくるのために、多くの仲間
(本人含め) と地域づくりに取り組む。

本人視点の重視

御坊市認知症の人とともに築く 総活躍のまち条例

平成31年4月1日施行

条例の理念

市、市民、事業者及び関係機関は、次に掲げる基本理念に基づき、認知症の人が暮らしやすいまちづくりを推進するものとする。

① 自分らしく

認知症になってからも希望と尊厳を保持し、自分らしい暮らしができること。

② いつまでも挑戦

認知症の人がその意思によりできることを安心して安全に行え、いつまでも新たなことに挑戦できること。

③ それぞれが活躍

認知症の有無にかかわらず、全ての市民が暮らしやすいまちとなるためにそれぞれが活躍できること。

条例の基本理念を具現化するために

認知症施策推進基本計画

7つの指針

条例の基本理念を実現し、認知症の人もそうでない人も住み慣れた地域で希望を持って暮らすことができるために、認知症施策推進基本計画で7つの指針を示す。

最重要！

- ① 認知症・認知症の人への先入観の払拭
- ② 認知症の人を起点とした地域協働による「よりよい暮らし」の実現
- ③ 認知症の人にとっての暮らしやすさの向上（さまざまなバリアの解消）
- ④ 地域ぐるみの暮らしの支え合いの質の確保と向上
- ⑤ アクションプラン実施のためのフォーメーションづくり
- ⑥ 市民にわかりやすい情報発信
- ⑦ 柔軟な評価と実践

① 認知症・認知症の人への先入観の払拭

先入観が払拭できれば
各取り組みが進展する

各取り組みが進展すれば
先入観が払拭できる

- ② 認知症の人を起点とした地域協働による「よりよい暮らし」の実現
- ③ 認知症の人にとっての暮らしやすさの向上（さまざまなバリアの解消）
- ④ 地域ぐるみの暮らしの支え合いの質の確保と向上
- ⑤ アクションプラン実施のためのフォーメーションづくり
- ⑥ 市民にわかりやすい情報発信
- ⑦ 柔軟な評価と実践

認知症コーディネーター会議

毎月第2火曜日の13時30分
から定例で開催。

各地域の活動、本人の活躍等の
報告や、研修企画等を行う。

「会議というより雑談の雰囲気」
を大切に、**明るく楽しく**
前向きに!

M

A

T

メンバー

- ★認知症地域支援推進員（8名）
- ★保健師
- ★社会福祉士
- ★ケアマネジャー
- ★認知症疾患医療センターPSW
- ★保健所PSW
- ★認知症対応型デイサービス管理者
- ★グループホーム管理者
- ★認知症看護認定看護師
- ★防災対策課職員

行政・推進員だけじゃないから安心感につながる！

事例①

本人の力が
家族の意識を変える

家族から「在宅限界」との相談から・・・

認知症とアルコール依存があり、家族が在宅での介護に限界を感じ包括へ相談。

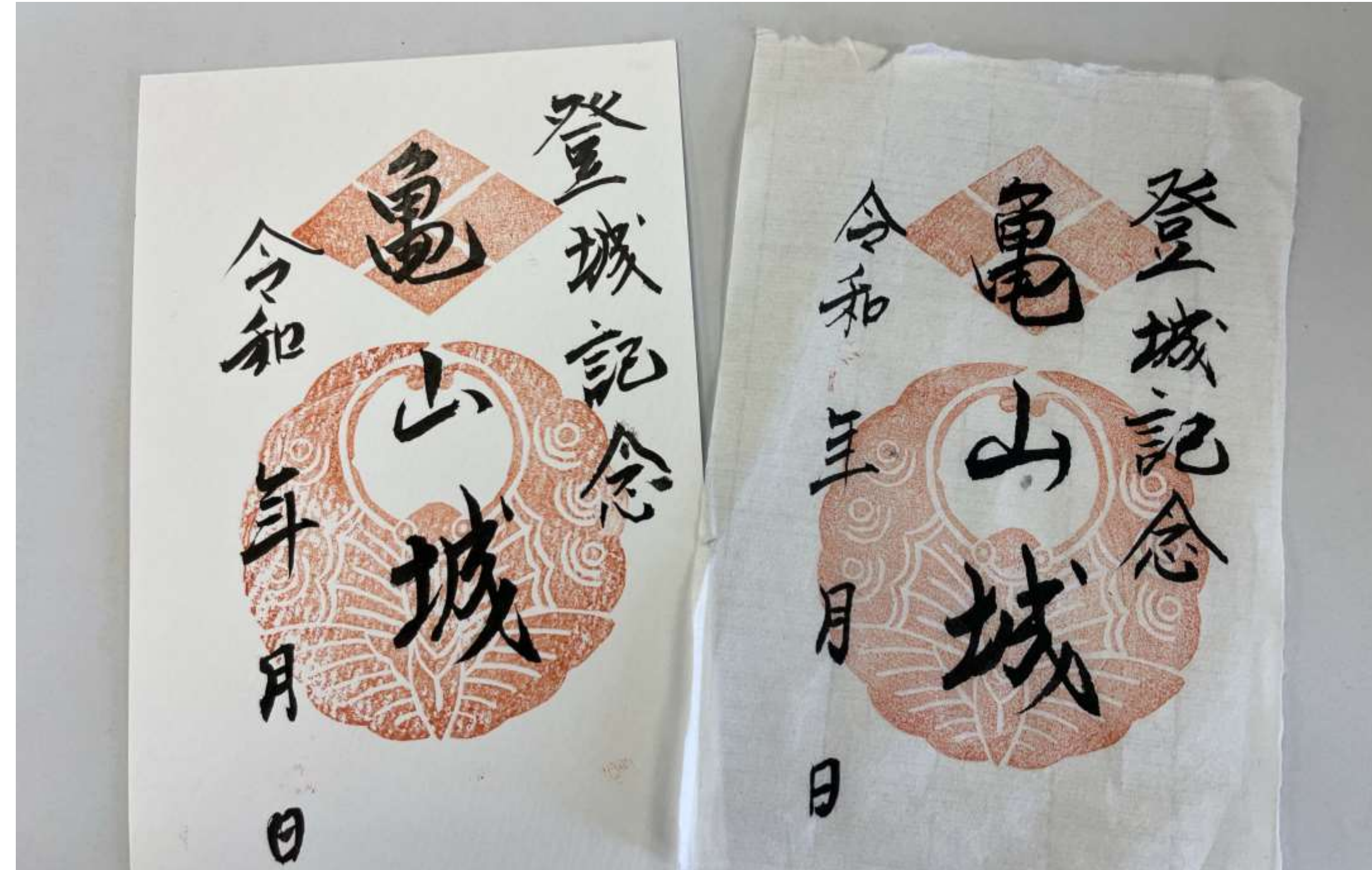
自宅へ行くと、本人のすごい力を発見！
書道が得意で、退職後、某有名寺で御朱印を書く仕事をされていたとのこと。

この力を地域につなげたい！



自宅に大迫力な掛け軸！

市職員の趣味とコラボ



力強い字で御城印を作成！
家紋印は包括職員が消しゴムハンコで作成

職員の「御城印集め」の趣味からヒントを得て、地元の山城のオリジナル御城印を作成できないか？と本人と相談。健康づくり促進のため山登りの企画とともに。

家族の気持ちの変化

家族は在宅の限界を感じ、施設も検討していた。

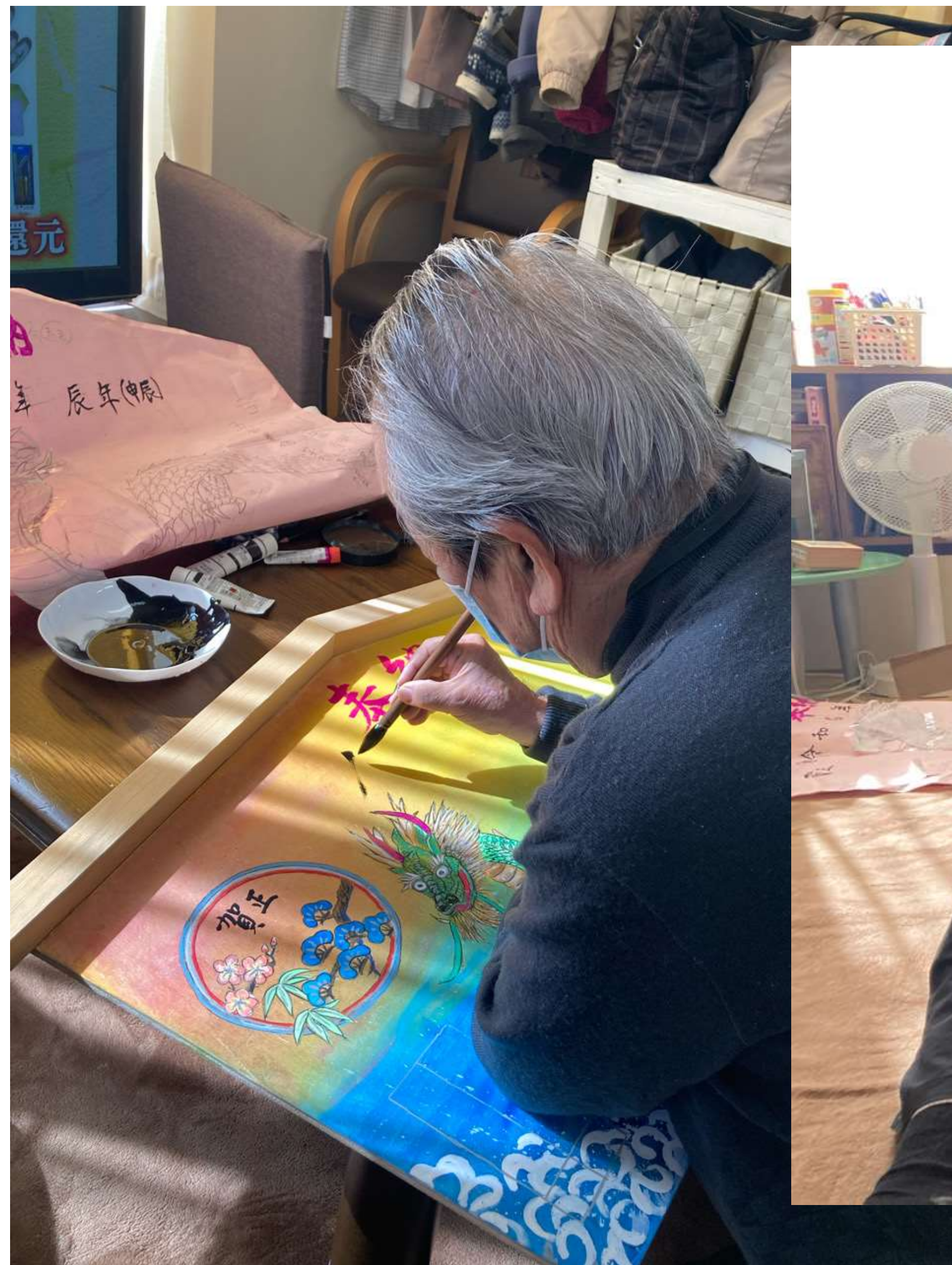
デイサービスを利用し始め、推進員やケアマネジャー等の支援も受け、自分らしく活躍する本人を見て「父の活躍が他の認知症の方の希望になるなら」と顔出しと氏名公表の承諾をしてくれた！



デイサービスで御城印を作成し活躍

本人の活躍が家族の気持ちを変えた！

地域で活躍しています



事例②

やりたいことを
本人とともに実現

自分の得意なことで活躍！

市役所で働く障がいのある人のために
使いやすい机を作ってくれた！



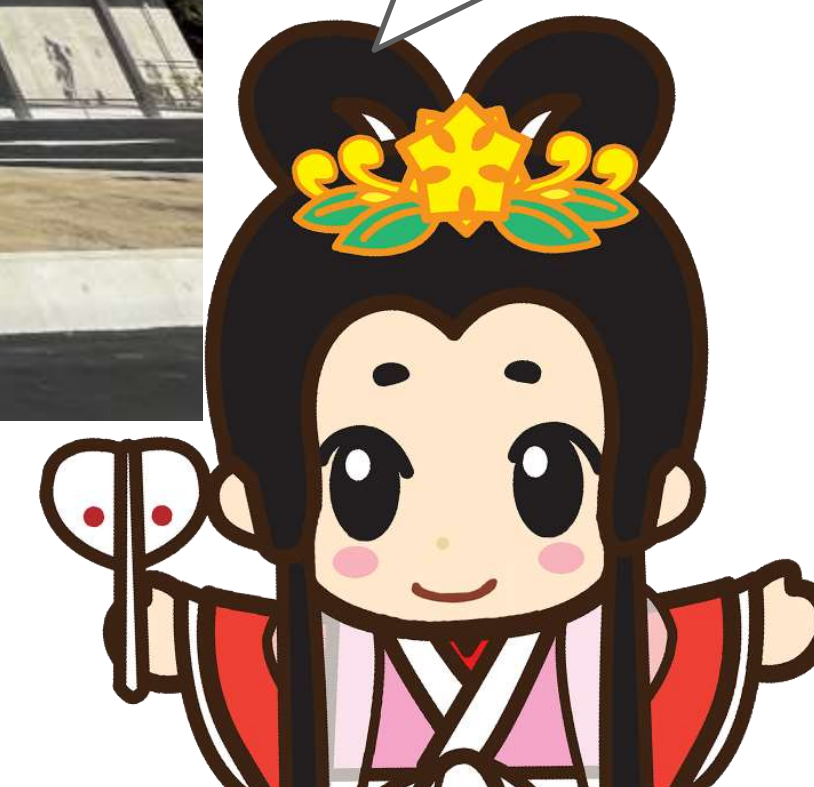
推進員や支援者が活動する機会を提供するだけではなく、本人の「やりたい」という気持ちを大切にすること。

あの新庁舎の玄関には、ワシが作った門松を飾りたいんや。

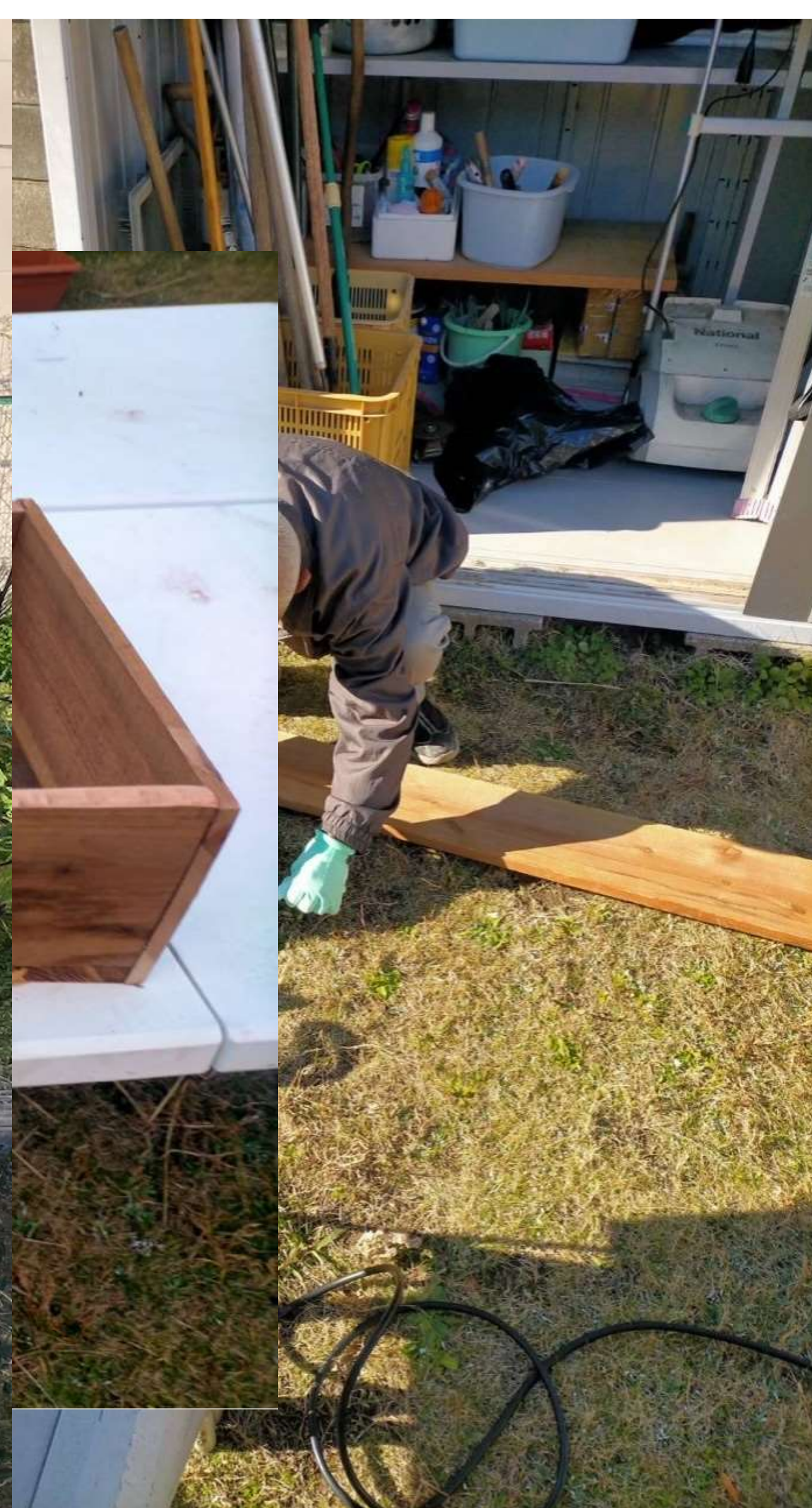
御坊市役所 新庁舎



一度見学に
きてみゃ!



R6年1月4日～





長年、推進員をしていた谷口が異動・・・大丈夫！？

全然大丈夫！！！！

なぜなら、しっかり理念を共有し本人視点を大事にしているから。

また、仲間がたくさんいるという安心感！

異動した推進員は、**新たな力になりうる！**

防災面の不安を感じている認知症の人もたくさんいる。
でも、それは、認知症かどうかということとは関係なく、
誰もが不安に思っていること。

福祉の視点だけで関わっていると、見逃してしまいうことを
異動した推進員は気付くことができる。

異動したから認知症施策とは関係ない、ではない！

ありがとうございました！！

